

令和3年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市デイサービスセンター 幸楽				
所在地	生駒市北新町3番1号				
指定管理者名	社会福祉法人生駒市社会福祉協議会	指定期間	開始日	令和 3 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 8 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 1 年目		
設置目的	老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条第2項の規定により、本市に老人デイサービスセンターを設置				
主な実施事業等	入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導等を行う事業その他市長が必要と認める事業。				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
要介護者	人	5,300	5,223	96.20%	コロナ禍による利用者数の減少
通所型介護予防	人	1,000	876	85.40%	コロナ禍による利用者数の減少
通所型サービスA	人	350	435	129.80%	利用者数の増加

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	89904000	72391686	75,419,042
指定管理料		0	0	0
利用料金収入	C	73240000	56267986	58,705,512
自主事業収入		0	0	0
その他		16664000	16123700	16,713,530
支出計	B	91424000	82009386	83,695,582
指定事業費		91304000	81932638	83,594,086
うち人件費	D	61320000	56901767	55,106,284
うち再委託料	E	5720000	5192638	5,030,099
自主事業費		120000	76748	101,496
事業収支	A-B	-1520000	-9617700	-8,276,540
利用料金比率	C/A	0.814646734	0.777271384	0.778
人件費比率	D/B	0.670721036	0.693844568	0.658
再委託費比率	E/B	0.062565628	0.063317606	0.060
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他(随時聞き取り)
実施結果	意見内容等		対応実績等
	特になし		

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	健全な介護保険事業として管理運営を行い、ボランティアの活動の場も提供している。また、通所型サービスC（パワーアップPLUS教室）を生駒市より受託し、公共施設の特性を活かした有効活用にも取り組んでいる。
市の評価	通所型サービス事業と介護予防のためのパワーアップPLUS教室をはじめ、ボランティア活動の受け入れも行き、設置目的に則した施設の有効活用に取り組んでいただいている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	介護保険制度に則り、市民に対し平等な利用を確保している。
市の評価	介護保険制度及び市条例等を遵守し、市民の平等な利用の確保に努めていただいている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	日々のミーティングや個別の利用者ケース会議、利用者アンケートを実施し、レクリエーション等に反映させ、利用者の満足度向上に努めている。また、。苦情については、法人に苦情申出窓口と第三者委員を設置している。
市の評価	サービス計画書の作成や、利用者アンケートの実施を行い、アンケート結果を活用したサービス向上により利用者の満足度向上に努めていただいている また、パワーアップPLUS教室については、高い改善率を維持していただいている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	施設管理面では夜間警備を機械警備とし、施設管理業務面は福祉センターを含め一般競争入札を実施している。また、生駒市環境マネジメントシステムを導入し、節電等にも努めている。
市の評価	当市の環境マネジメントシステムに則り、節電を行っているほか、一般競争入札を実施し、施設管理の経費削減にも努めていただいている。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	見学や体験利用からの介護保険利用者の利用促進や、市からの受託事業を積極的に受け入れて収益増加に努めている。しかし、コロナウイルス感染拡大により、利用者の利用中止や休止等もあり、収益増加は難しい状態にある。
市の評価	新型コロナウイルスの影響により、急遽の利用休止等厳しい状況の中、安定運営に向け取り組んでいただきたい
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	県の指定基準を満たす人員配置を行い、職員を対象とした研修会を定期的で開催し、職員の資質向上に努めている。また、ホームページやTwitterを利用した広報活動を行っている。
市の評価	限られた人員の中、研修会などによる職員の資質向上に努めていただいている。また、介護人材不足の中、人員確保に向けたPR等に尽力いただいている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	無料の排泄ケア相談所（ミニむつき庵いこま）を設置し、おむつフィッターの資格保持者が利用者や市内の介護家族等を対象に相談対応を行っている。
市の評価	例年、積極的に自主事業に取り組み、住民の日常生活のサポートとなる事業に取り組んでいただいている。今後もこのような取組を継続していただきたい。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	法人独自で個人情報保護に関する方針を作成し、職員に周知の上順守している。また、緊急事故発生時のマニュアルや消防計画の作成、年2回の消防訓練、定期的な消防設備の点検を実施し、危機管理体制の強化に努めている。
市の評価	職員の個人情報保護に対する意識向上に努めていただいている。また、消防訓練や、災害時対応の研修を実施し、法人独自の方針を作成する等、危機管理体制の強化に努めていただいている。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	利用者数増加に努めつつ事務経費等の削減を行う等の収支の改善に努めたが、コロナウイルス感染拡大により利用者の利用中止や休止等もあり、利用者人数の増加には至らなかった。また、施設設備については、年次計画による改修工事を行い、施設の寿命を延ばすことで安定的な事業計画が可能となってくる。
市の評価	コロナ禍の状況が続く中、利用者数の回復を図り、収入の増加に努めていただくとともに、経費節減に努めていただき、安定的な事業継続ができるよう取り組んでいただいている。

6 指定管理者の財務の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産	385,343,827	385,522,849	364,263,112
流動資産	54,083,154	50,564,990	49,135,320
固定資産	331,260,673	334,957,859	315,127,792
負債	98,585,554	107,274,243	111,792,780
流動負債	28,356,041	30,243,570	33,949,841
固定負債	70,229,513	77,030,673	77,842,939
純資産	286,758,273	278,248,606	252,470,332
基本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
事業活動収入	295,529,224	297,382,739	276,930,464
経常収支差額	4,588,023	584,299	-24,767,728

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	34.4%	38.6%	44.3%
固定比率 固定資産/純資産×100	115.5%	120.4%	124.8%
流動比率 流動資産/流動負債×100	190.7%	167.2%	144.7%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	92.8%	94.3%	95.4%
総資産回転率 売上高/資産×100	76.7%	77.1%	76.0%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	1.2%	0.2%	-6.8%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	社会福祉協議会としての責務を果たすべく、パワーアップPLUS教室の受託を始め、介護予防事業に積極的に取り組むことはもとより、自主事業として「ミニむつき庵いこま」を設置する等、今後も先駆的な介護保険事業所としての運営に努めていく。ただし、施設の老朽化による設備の故障が増大してきており、利用者には良好なサービスの提供が困難となってきているため、市による施設・設備の改修等が是非とも必要である。また、コロナウイルス感染拡大の影響の中、毎日の消毒や密の回避等の感染拡大防止の取り組みを行いつつ、ボランティアや研修生の受け入れの再開を行っているところである。
市の評価	市からの受託事業や自主事業等、介護サービスの充実に向け取り組んでいただいている。いまだに新型コロナウイルスの流行が続いており、また、世界情勢による物価高騰等介護サービス提供事業においてはかなり厳しい状況が続いているが、高齢者の日常生活のサポートとして不可欠となる介護サービスの提供に向けて安定した運営に取り組んでいただきたい。